武庫川女子大学附属総合ミュージアム２０２６年度春季展

新制女子大学として抱いた、夢と理想

①
②
③
④
⑤
Nikon
新学舎・新学寮 竣工記念
1960
武庫川学院

2026
4.3［金］
↓
6.3［水］

武庫川女子大学附属総合ミュージアム
Mukogawa Women's University Museum

［休館日］土曜・日曜・祝日（ただし、5月24日（日）は午前10時～午後3時まで開館）
［観覧料］無料　［開館時間］午前10時～午後4時30分
［場所］武庫川女子大学 学術研究交流館（IR館）5階ギャラリー

武庫川学院有信寮全景

武庫川学院新学舎 ―阪神第二国道に面して―

①植物標本（薬学部所蔵）②昭和35年（1960）大学要覧 ③テキスト『調理（2）』④昭和35年（1960）新学舎・新学寮 竣工記念
⑤顕微鏡（薬学部所蔵）※所蔵の記載がないものは、すべて附属総合ミュージアム所蔵。

武庫川女子大学附属総合ミュージアム2026年度春季展

新制女子大学として抱いた夢と理想

昭和14年（1939）、武庫川高等女学校として創設された本学は、太平洋戦争を経て、昭和24年（1949）、戦後の大学改革にのっとった新制大学・武庫川学院女子大学として開学しました。開学時には、学芸学部国文学科と生活科学科（食物学専攻、被服学専攻）が設置されました。その後、昭和33年（1958）に武庫川女子大学と改称した本学は、音楽学部、薬学部、教育学部などを次々に設置しながら常に進化を続け、令和8年（2026）現在、13学部21学科を有する総合大学へと発展しました。附属総合ミュージアムは、学院の発展のなかで収集されてきた生活資料・民具資料、美術工芸品資料などを収蔵し、調査・研究をすすめるとともに、これまでの学院の歴史に寄り添い、学院や各学科に関する様々な資料について情報を収集し、調査をおこなっています。

このたびの春季展では、新制女子大学となった昭和24年から昭和38年（1963）までに設置された学部学科のうち、学芸学部生活科学科（のちの生活環境学部）、薬学部の資料を中心に、各学科史資料や関連する学院資料をご紹介します。新制女子大学としてどのような夢や理想を抱いてきたのか、そして皆学化へと舵を切った本学への期待を感じていただけたら幸いです。

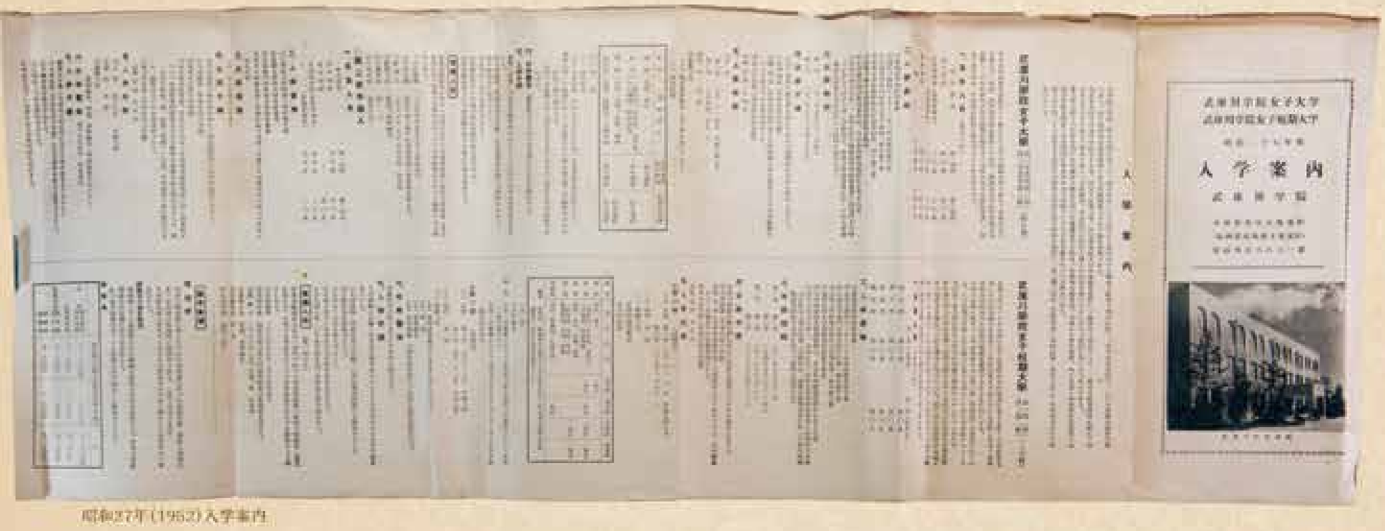
ソヨウ
トウニン
シコン
ハッカ
ボタンピ

生薬標本（薬学部所蔵）

組重（鮎の図）

昭和35年（1960）大学要覧

雛道具竈神棚付台所セット



昭和27年（1952）入学案内

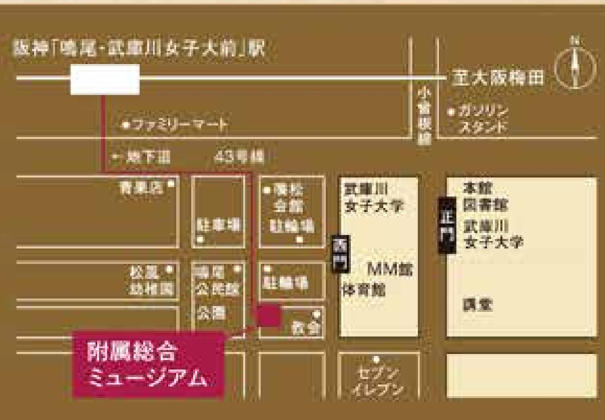
武庫川女子大学附属総合ミュージアム

Mukogawa Women's University Museum

〒663-8184 兵庫県西宮市鳴尾町1-10-21
アクセス：阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」駅から徒歩5分
電話：（0798）45-3509 https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum/

@Mukogawa_Museum

武庫川女子大学附属
総合ミュージアムHP →


阪神「鳴尾・武庫川女子大前」駅
至大阪梅田
N
小曽根線
ガソリンスタンド
ファミリーマート
← 地下道
43号線
青果店
駐車場
鳴松会館
駐輪場
西門
武庫川女子大学
MM館
体育館
正門
本館
図書館
武庫川女子大学
講堂
松風幼稚園
鳴尾公民館
公園
駐輪場
教会
附属総合ミュージアム
セブンイレブン